

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	3年
教科等名		数学		グループ名	2グループ
ねらい		- 日常生活に必要な数量を理解するとともに、具体物や電卓を使って簡単な計算ができる。 「多い、少ない」「重い、軽い」等を直接比較、間接比較をし、区別する力を養う。 - 数学的な考えや方法の良さを理解し、生活の中で生かそうとする態度を養う。			
担当教員		○大平 宏 榎本 一慶(月) 大野 隆将(水)			
予定授業時数		66			
使用教科書		くらしに役立つ数学			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	時間と時刻 暦	○	- デジタル時計、アナログ時計の読み方 - カレンダーの読み取り	生活の中で活用できるようになる。	- 授業の始めに毎時間行い、定着を図る。 - 視覚的に分かりやすいように模擬時計、タイムタイマー、カレンダーを用いる。
4 5 6 7 9	計算	○	1桁繰り上がりのない加法、減法	計算の方法を身に付ける。	具体物や計算機等を活用し、視覚的にわかるよう指導を行う。
	大きな数		3桁から5桁の数字の表現、数唱	正しく読む、正しく書くことができる。	身近にある題材を提示し、イメージできるよう指導を行う。
	数量	○	数のまとまり	数を組み合わせて、合計の計算をすることができる。	- 生活に結び付くように模擬通貨を用いる。 - 計算アプリを使用し、お釣りの確認をし、実践的に学習する。
10 11 12 1 2 3	順番、位置	○	平面での上下左右の位置	- 物の位置の表し方について理解できる。 - ものの位置を数を用いて表現する方法を考えることができる。	教室のロッカーや棚など身近なものを課題設定する。
	重さと量		- 量や重さの比較 - 計量 - 数の単位	- 日常的に目にする重さを測定し、比較できる。 - 決められた重さをはかりを使って量ることができる。 - 単位の名称が分かり、分類することができる。	- 身の回りにあるものを教材にする。 10や20など切りのよい数字から量っていく。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	3年
教科等名		数学		グループ名	3グループ
ねらい		・計算、計測、買い物など、生活の中で必要な数学的な知識や技能を養う。 ・計算、計測、買い物でのお金のやり取りなど、目的に応じた方法で考え、答えを出す力を養う。 ・数学的な考えや方法の良さを理解し、生活の中で生かそうとする態度を養う。			
担当教員		○澁谷 一成			
予定授業時数		66			
使用教科書		くらしに役立つ数学			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	・整数の加法及び減法、乗法	○	・2桁と1桁、2桁同士の繰り上がりのある加法 ・繰り下がりのない2桁と1桁、2桁同士の減法の筆算 ・1桁同士の乗法の計算 ・簡単な文章題	・繰り上がりの法則がわかる。 ・数が大きくなっても、手順通り計算をすることができる。 ・かけ算九九を覚えて、活用することができる。 ・文章内にある言葉をヒントに正しい計算式を作ることができる。	・興味をもてるように身近な具体物を用いる。 ・必要に応じて、電卓を活用する。 ・繰り返し行い、学習の定着を図る。
4 5 6 7	・時間と時刻 ・順番、位置	○	・何分後、何分前の時刻 ・休日の時間表作り ・図形の性質	・何分前、何分後の時刻が分かる。 ・生活時間表を見て、時間の割り振りが分かる。 ・図形の特徴を理解し、仲間分けができる。	・模型を使用するなど、具体的な操作も取り入れる。 ・図形の特徴を理解できるように、簡単な作図を行う。
9 10 11 12	・順番、位置 ・重さと量 ・数量 ・データの活用	○	・三角形と四角形 ・単位 ・合計金額の計算 ・割合	・図形の特徴をつかみ、書くことができる。 ・はかりを正しく使って、いろいろな物を量ることができる。 ・タブレットや計算機を使って、正しい金額の支払いができる。 ・割合や百分率を理解し、金銭支払い時の割引などを知る。	・図形の特徴をつかめるように、簡単な作図を行う。 ・自分たちの生活で使用する物を中心に扱い、意欲的に活動できるようにすすめる。 ・タブレットを使うなどして、具体的に店員と客のやり取りを入れ替りながら行う。
1 2 3	・数量 ・計算	○	・合計金額とつり銭の計算 ・小数	・計算機を使って、つり銭が正しいか確認できる。 ・小数の表し方や意味が分かる。	・タブレットを使うなどして、具体的に店員と客のやり取りを入れ替りながら行う。 ・身の回りにある小数の表示を扱う。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	3年
教科等名		数学		グループ名	4グループ
ねらい		・四則計算の意味を理解し、計算ができるようになる。 ・具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方などを筋道立てて考えることができる。 ・数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
担当教員		○奈良 恵理子			
予定授業時数		66			
使用教科書		くらしに役立つ数学			
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
通 年	計算		・百マス計算 ・数学ゲームなど	・数学への苦手意識を克服し、数字の面白さに気付くことができる。	・個々の段階に合わせたものを用意する。
4 7	数量(数と計算)	○	・四則計算 ・整数 ・小数 ・分数 ・概数 ・長さ ・時間と時刻	・暗算、筆算、電卓等を使用し、基礎的な四則演算ができる。 ・4桁以上の数の計算や大小比較ができる。 ・小数の大小比較、計算ができる。 ・分数の理解を深める。 ・四捨五入や切り上げ、切り捨てができる。 ・長さの単位換算ができる。 ・時間の計算や時刻表に関する問題を解くことができる。	・意欲をもって学習できるように、アプリ等を活用する。 ・段階的に桁を増やし、学習しやすいようにする。 ・金銭や人口など、生活に身近な題材を取り扱う。 ・時刻表や集合時刻からの逆算など生活に活かせる学習を行う。
9 10	図形		・図形の種類 ・図形の作図 ・面積の計算 ・立体	・図形ごとの特徴が分かる。 ・道具を用いて作図ができる。 ・三角形や台形の面積の計算ができる。 ・見取図について知ることができる。 ・立体についての理解を深める。	・動画等を用いて、視覚的に理解できるようにする。 ・段階に応じて、平面図形から立体図形へと内容を発展させる。
11 12	重さと量		・重さと量の比較 ・重さと量の単位	・重さや量について比較ができる。 ・重さや量の単位がわかる。	・導入として動画を見せ、基本を確認できるようにする。 ・生活に身近な題材を取り扱う。
1 2	データの活用	○	・グラフの読み取り ・データの活用	・数量の関係を円グラフや帯グラフに表したり、読み取ったりすることができる。 ・目的に応じてデータを集めたり、データの特徴や傾向に気付くことができる。	・タブレット端末のグラフ作成機能を活用する。 ・1か月の生活費や天気予報など、身近で社会生活に生きる題材を取り扱う。
3	まとめ		・1年間の振り返り	・1年間学習した内容を確認し、定着させる。	・段階に応じたワークシートを用意する。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。